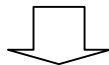


「デバイス・ネオ」を使った合格プラン

「法科大学院・既修者コース入試のための合格プラン」

法科大学院上位校・既修者コース合格のために必要なこと

法科大学院上位校・既修者コースの場合、適性試験のスコアも重要でハイスコアが要求されますが、それ以上に二次試験（法律論文式試験）の占めるウェイトが大きく、論文試験の出来によっては、他の受験生に差をつけることも可能です。法律の基礎知識の習得＋論文作成力を身に付けることが必須となります。



法科大学院上位校・既修者コース合格のための3大セオリー

「デバイス・ネオ」を使って情報を一元化する

「法律総合講座」で学んだ知識を「デバイス・ネオ」に書き込み、重要部分にマーカーしたりアンダーラインを引いたりすることで、入試に必要な情報を一元化しましょう。

「デバイス・ネオ」以外に、自分でサブノートを作る必要はありません。

ノートを作ることで勉強した気になったりしますが、実は時間だけかかった割に、後で何も理解していないことがわかります。＝自己満足の作業で終わることが多く、時間と労力の無駄になりやすい。

答案練習会を効果的に利用する

基礎知識をインプットしただけでは、答案が書けるようにはなりません。新カリキュラムでは、法律総合講座の段階で、偶数回に簡単な論文演習を実施し、早期から論文を書く訓練を始めてもらいます。

秋からスタートする法律総合答練では、基礎答練 応用答練と2段階の本格的な答案練習を実施します。

「法律総合講座」の演習、および「法律総合答練」を受講する中で、理解していなかったためちゃんと書けなかったところを、後で「デバイス・ネオ」の該当箇所を読み直して復習しましょう。

書けなかったところを読み返すことで、より理解が深まり、知識が定着します。

本試験の直前に確認する材料を揃える

法科大学院入試直前期に、短時間でザッと見直す便利ツールとして、自分

が書き込みをした「デバイス・ネオ」が、効力を発揮します。

講義のテキストとしてだけでなく、オリジナルのサブノートとして活用し、試験直前の時間のない時に、重要なポイントに絞って見直しましょう。

「デバイス・ネオ」の特長

新司法試験対策としても対応しうる情報（最新判例など）を盛り込んで作成していますが、講義は法科大学院入試だけに必要な情報だけをピックアップして進めていきます。

法科大学院入試だけでなく、法科大学院入学後の学習用に、また新司法試験対策用にと、先々まで使えるテキストとなっています。

「法律総合講座」のテキスト(別売り)になっています。

理解・記憶しやすい定義・趣旨・要件！

定義・趣旨・要件・効果という叙述形式をとりながら、必要最小限の基礎知識を網羅的かつコンパクトな形で整理しています。

重要な用語には色をつけ、重要部分にアンダーラインを入れて視覚的効果をもたせています。

記憶の定着のために、できるだけ事例を挙げて説明し、図表もふんだんに使用しています。

法科大学院入試の傾向に合致！

法科大学院入試に出題される分野・知識に重点をおいて記述し、必要な条文を掲載し、学説や補充的知識については解説を設けてコンパクトな説明を加えています。

判例・通説を中心に説明するよう配慮。

重要判例については、判旨の必要部分を掲載し、必要に応じてコメントも付記しています。

コンパクトな判例集としても利用できるよう、判例の掲載を充実させています。

末に重要論点について、コンパクトな論証集を掲載！

情報の一元化に最適！

書き込みしやすい B5 版で、スペースを大きく設け、レイアウトに余裕を持たせています。勉強の過程で得た知識を追加したり、自身の注意点等を書き込むことで、情報を一元化できます。